

令和4年度港区コミュニティ交流会(地域活動支援事業ワークショップ)を開催しました

開催日時・場所	令和5年2月11日(土) 午前10時～11時30分 港区役所 講堂
参加者	40名(各学区地域役員2名)
テーマ ・内容	○テーマ こんな地域になったらいいなを考えよう ○内容 「“こんな地域になったらいいな”を実現するための取り組みアイデアを考える」
交流会での 主な意見・ やりとり	グループ① 防災等の関心の高い内容で情報発信をすることで、まずは町内会のことをよく知ってもらい。その後参加するようになった後は、話し合い等によりみんなで決めるようにし、町内に携わっている意識を持ってもらい。 グループ② 担い手づくりにおいて、町内会加入者を増やすためにも、子ども会や若い世代を巻き込み、参加を呼び掛ける。新しい企画づくりをし、歩こ歩こ大会など子どもから高齢者まで参加できる企画をする。 グループ③ 中学生等の若い力を活用し、祭りのボランティアをやってもらい。外国人に対しては、日本語教室や料理教室を開催し交流を深める。学区を歩くスタンプラリーなど、子ども会と老人会と一緒に活動ができることを企画する。 グループ④ 親子で参加できるようなイベントを土日に開催し、子ども会やPTAと一緒に活動する。女性の町内会長など、女性が活躍できる機会を増やす。「やってよかった」「楽しい」と思えるイベントを企画する。 グループ⑤ 若い人に役員の仕事を知ってもらうために、まずは子ども会を入り口にする。町内会に入ってもらったためにも、日ごろからの声掛けを大切にし、お祝いには図書券を配布する等のメリットを与えるようにする。
感想等	・スタンプラリーの意見を聞いてやってみたいと思った。スタンプラリーの場所毎にお菓子などプレゼントを用意するなど検討したい。 ・担い手の問題はどの学区でもかかえていると思われるが、自分の学区としても対策を考えていく必要がある。 ・子供達が安全で安心して成長できる町づくりが大事。 ・だれもが楽しくやってよかったと思える活動を目指したい。

アンケート 結果	・コミュニティ交流会全体について 1 大変良かった 18名 2 良かった 20名 3 あまり良くなかった 0名 4 良くなかった 0名 ※無回答 2名 ・地域活動で活用していきたいと思うものについて(複数回答可) 1 LINE 18名 2 電子回覧板 4名 3 インスタグラム 6名 4 ホームページ 8名
-------------	--

ワークショップの様子



取組アイデアをまとめたもの



